



# 北見西ロータリークラブ会報

2022～2023年度クラブテーマ

## 《コミュニケーションとふりかえり》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)  
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)  
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)  
 ☎23-2251  
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分  
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 窪之内 覚 ■会長エレクト 齊藤伸一郎  
 ■副会長 西村 清一 ■幹事 佐藤 尊人



イマジン  
ロータリー

第2500地区ガバナーテーマ

「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」

第2417回例会

2022年9月29日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

## 情報集会報告

R情報委員会

第2416回 例会記録

2022/9/22

会長挨拶

窪之内会長



天気が良くて気持ちがいいです。今日も沢山お集まりいただきましてありがとうございます。

先週は夜間味覚例会ということで、海田委員長初め親睦活動委員会のみなさまには、大変負担をかけました。ありがとうございました。

本日は私の不思議な出来事を皆さんに聞いていただきたいと思っております。

私の母は今から58年前、私が19歳の時に亡くなりました。亡くなった日、ちょうど今日のような秋晴れの素晴らしい日になりまして、母が病院に入院しておりまして、良くて4、5カ月かなと言われていました。コクワ取りに行ったら私は開成区の山育ちでその山へ行きましてコクワが取れて段々奥の方へ入っていったら上のほうに鈴なりなんです。コクワは割と上の方に多いのですがそこを登っていったらですねもう登れないのですわ。横に私の腕の太さぐらいの枝があり、鉄棒でよくやるように足をかけて登れると思いきその枝に全体重をかけたのですが、その枝が枯れていて根本からポロっともげてしまって自分は真逆さまに落ちました。電柱よりもちょっと高いぐらいでこのまま落ちたら死ぬと、気を失っちゃったのです。ハッと気づいたらどうしてそうなったかわからないのですが、登っていった木をこの短い脚でがっちり挟んでいるのですわ。そしてたまたま近くあった斜めにそって生えていた木に背中がのっかって、仰向けになって止まっていた。かすり傷一つないのです。こんな事ってあるんだろうかって思いまして、一緒に行った人からは「お前サルみたいなやつだな」なんて言われて。当時は寮に入っていて、コクワ酒を作ることになって段取りしているところに病院から母が亡くなったと電話がきまして、どう考えてもお袋が私を助けてくれたのではないかとその時思いました。それ以来、品行方正に生きなければと思いました。偶然そうなったのでしょけれども自分としては、母が助けてくれたという事を誰かに話したいなと思っていました。聞いていただいてありがとうございます。

天気 (例会時) 最高気温 21℃



### 昼食

小鉢キャベツのお浸し  
 刺身 鮭  
 そいの唐揚げ えび芋唐揚げ  
 きのご飯かけ  
 ご飯 味噌汁 香の物  
 フルーツ コーヒー

■ゲスト (ライラセミナー卒業生)

高田親睦活動委員

北見信用金庫西支店

竹井田 彩 様

北ツール株式会社

妻鳥 祐太 様

株式会社リーマン

不動産のビッグ北見店

岡田 一馬 様

■ニコニコボックス 市村親睦活動委員

平間会員

結婚祝い有り難うございました。  
 ニコニコに協力します。

## 入会式



氏名 松浦 章さん  
生年月日 昭和40年10月10日  
勤務先 北見信用金庫 西支店  
役職 支店長  
所在地 北見市本町4丁目1番17号  
職業分類 信用金庫  
自宅 北見市東相内町7-36  
所属委員会 親睦活動委員会  
スポンサー 千葉会員・松浦（信）会員



## 幹事報告

### 佐藤幹事

- 1) 9月18日（日）に開催されました北見ライオンズクラブ60周年式典に窪之内会長が出席され、西クラブよりお祝い金を支出させていただき、納めさせていただきました。それに対して北見ライオンズクラブ様より「お陰をもちまして盛会のうちに滞りなく式典を無事終了することができましたことを深く感謝申し上げます。」とのお礼状が届いております。
- 2) 2500地区ガバナー事務所より、2830地区にて起きました、青森県大雨災害の支援金受付のご案内が届いており、理事会でも支援金を募ることに承認させていただいておりますので、後ほど三浦委員長より支援金の募金依頼がございますのでご協力の程、お願い申し上げます。
- 3) 例年3月に開催されておりましたインターアクト短期海外研修ですが、今年度も中止とすることが決定しました。との報告が地区インターアクト委員長よりございました。5月に開催予定の地区大会はまだ検討中とのことですので。内容決まりましたら追ってご報告します。

## 委員会報告

### 地域発展委員会 三浦委員長

#### 青森県大雨災害支援金についてお願い

青森県内は8月3日からの大雨により、第2830地区におきまして河川の氾濫による冠水被害や土砂崩れの大きな被害について青森県大雨災害支援金の依頼があり、会員より48,000円が集まりました。

### 親睦活動委員会 海田委員長

先週の夜間味覚例会に多くの会員のみなさまに出席いただきまして、家族同伴では開催できませんでしたがこの場所にて楽しく、和やかに例会を閉じることができました。

ありがとうございました。

### R情報委員会 服部委員長

- 1) 今年度はしばらく開催されていなかった新入会員オリエンテーションを近々開催する計画をしています。日程は決まっていませんけれども10月下旬か11月の上旬に設定予定です。コロナの関係でここ2年開催できていない関係で対象者は入会3年未満の会員です。追って案内をしますので参加をお願いします。

**青少年奉仕委員会 今井委員長**

本来であれば、9月3日～9月4日に北見にて開催する予定でありましたライラセミナーの報告をする会ではありましたが、残念ながらコロナの影響で中止となってしまいました。

ライラは、14歳から30歳までの異なった職業に従事する青少年たちが、共同生活を通じ、心を開き、語り合い、親交を深めながら研修することで、より良い社会人として、または、明日をリードする指導者として、更に成長する事を目的としています。

今回のライラセミナーのテーマは【大きな夢を実現！！つよい絆で新時代を切りひらく！！】

このテーマを基に、北見モイワスポーツワールド会場で2日間にわたり、青少年達と共に親睦を図り、この青少年指導者育成プログラムを実行する予定でしたが、中止となってしまいましたので、私自身も残念な気持ちでいっぱいです。

今回は、過去にライラセミナーを経験しておられます3名の方にゲストでお越しいただきまして、ライラセミナーのふりかえり、または実際にセミナーを経験して変化したところ、成長したところなど、お話いただきたいと思います。

**北見信用金庫西支店 竹井田 彩 様**

本日は私が過去にライラセミナーへ参加させていただき、学んだ事をみなさまにお伝えさせていただきます。

2019年8月31日、9月1日と二日間日程で旭川市にて行われました。

1日目は、旭山動物園へ見学に行きました。そこでは、動物たちの生活風景、その動物ならではの習性などを見ることができました。どの動物達も活発的でその魅力にひきつけられました。見学後、旭山動物園の職員の方に講義を開いていただき、開園から今日に至るまでの、挑戦や試み、歴史を拝聴いたしました。そのお話の中で印象に残ったのは、来園した子供がアザラシを見ているときに親御さんが「いつまでみているの。それただのアザラシじゃない」といって子供を催促しました。その瞬間園長はどこがただのアザラシなんだ！アザラシにはこんなにも素敵な魅力があるのに…と動物たちの魅力を伝える事が出来ない悔しい思いから名物であるマリンウェイを設置しました。このマリンウェイはアザラシの泳ぎ方の特徴である獲物を追いかける際の垂直泳ぎを観察できるようにしたのが始まりというお話でした。そこから「行動展示」に取り組み動物本来の生態を再現する試みによって動物たちの生き生きしている姿に出会えることが人気の秘訣となりました。例えば、オランウータン館などでは、室外に運動場を設置し、地上17メートルの橋を渡る空中散歩が有名です。普段高い木の上で生活するオランウータンの生態を活かすようにつくられました。しかし、安全ネットなどはあえて設置していないとのことでした。その理由はなんだとおもいますか？実際の野生の世界ではジャングルで身を守ってくれる安全ネットなんて存在しない。少しでも野生に近い姿を来園者にみてほしいという強いおもいでした。創立から順調とは言えなかった時代も、決して投げやりにならず、信念をもつことの大切さそして、実行する努力がいかにか必要か気付かされました。

二日目は、「北の大地から」というテーマで、この北海道北の大地から地域の活性化にどのようなアプローチができるか、どのように活かせるかとグループディスカッションを行いました。私たちのグループはこれを一本の大きな「木」をイメージし表してみました。まず、「花」「幹」「根」と大きく3に分け考えました。「花」となる部分には、「人の流出を止めること」にあたります。これは住んでいる人の働ける場所を作るという事です。近年の傾向から若い世代は、北見の土地を離れ、職

を求め移住をしていくことから、若い世代の流出を止めたいという思いです。「幹」となる部分には、「人を呼び込む」ということがあたります。これは観光客を呼び込むという事です。では具体的にはどうすればいいか？特産品を活かして生産だけではなく加工、販売までを行う地産地消のモノづくりをしていくことで、その間の製造や物流、販売の雇用が創出できるのではないかと話し合いました。これらには、花の部分である、人を流出させない事へも繋がります。街の名産を活かして「〇〇の街」といったような一体感のある街づくりをしていくことが大切です。そうして出来た街に観光客を呼込むためには、地域をPRする必要があります。YouTubeなどの動画サイト、SNSを活用し、メディアに取り上げられるようなキャラクター、デザイン、北海道ならではの付加価値の高い体験ができるツアーや、生産から消費まで行う工場見学など幅広く取り組むことができます。また、一つの自治体だけで活性化していくのではなく、他の地域と連携し、一帯の地域全体で観光客を呼込むことも重要です。このような活動をしていくためには、「根」となる部分で、私たちは地域について学び、人との繋がりを作っていくことが大切だと私たちは考えました。親から子供へ文化や歴史の継承、地元検定など郷土知識を深めることや、都会に負けない魅力を知り、伝えていく活動が必要です。もしも、この「木」を育むことが出来たなら、地域活性化に大きく繋がり、明るい未来が見えてくるのではないかと私たちは結論づけました。

セミナーへ参加後、今まで考えもしなかった活性化への道筋や、知らなかった地域の特徴など改めて知ることができました。また、金融機関としても、地域のことをよく知ることは、お客様を知ることにも必ず繋がっていくことだと思いました。お客さま知ることは、お客さまの抱えている課題を知り、その課題に寄り添い解決していくこと。理想の課題解決型金融へもつながります。自分で考え行動し、時にはうまくいかない時や、挫けそうなきも決してあきらめず、努力していく事の大切さを学びました。

現在私は、預金係から融資係へと移動になり、まだまだ分からないことがたくさんあります。地域を知り、お客さまを知る。そして少しでもお客さまの力になれるようにこの努力を日々怠らずに業務に励んでいきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。



#### 北ツール株式会社 妻鳥 祐太 様

約7年前の記憶で鮮明には思い出せませんが、自分がその時の体験したこと、感じたことを今回お話しさせていただきます。話の中で言葉が不十分なところもあるかと思いますがご了承ください。

当時ライラセミナーとは、全くなにをする場なのかもわからず、参加させていただきました。その時のスローガンでもあった【1泊2日で、自分新発見！今、語ろうあしたのために】このスローガンを聞いたとき、どのような環境や場面で新しい自分を発見できるのだろうか、と興味が出てきました。当日会場に行くと、たくさんの参加者を目の当たりにして、緊張と不安そして知り合いが誰もいない状況、なかなか経験のできないことでした。8人1組で一つのテーマを決め、そのテーマを元にさまざまな意見を出し合い、話をまとめ、みんなの前で発表する形でした。8人1組が8組くらいあったと思います。最初は自分の意見もなかなか言えずにいましたが、話が進むにあたり徐々に発言できるようになり、後半は自分が話を進行して進めれるようになりました。その時の自分たちのテーマは、人生ゲームでした。自分が10年後20年後何をして、なにを目標にしているのか、ということについてグループの中で話し合いをし、内容をまとめ、みんなの前で発表出来ました。

年齢も違い、出会ったことのない地域の方々との交流など、1泊2日という短い時間の中で日頃経験の出来ない貴重なひと時となりました。自分がグループみんなの意見を聞いて話をまとめられたり、リーダーシップを取れる自分を改めて発見出来ました。北の大地水族館をプロデュースされた中村元

さんに講師としてお話をしてもらえました。中村さんの考えで常識に囚われない思考という言葉は今でも頭に残っております。セミナーでの経験を活かし、営業活動でもお客様へのアプローチの仕方、話の進め方など自分の営業スタイルが確立できたと思います。

このような貴重な経験をさせていただいた北見西ロータリークラブの皆さまに大変感謝いたします。コロナ過で開催が難しいとは思いますが、今後セミナーなどが開催されることを願っております。ご清聴ありがとうございました。



## 株式会社リーマン 不動産のビッグ北見店 岡田 一馬 様

まず簡単に私の自己紹介を。1990年生まれの31歳です。生まれてからずっと北見に住んでおり、2013年に北見工業大学を卒業しJ・メディアに就職しました。

趣味はゴルフ、特技は麻雀です。ゴルフは昨年より初めて、全然上達しません。休日にコンペに出たり友人や父とコースに行き楽しんでおります。目指せ100切りですが、数年後には特技といえるよう頑張っております。麻雀に関しては学生時代より麻雀が好きで好きで、入社したきっかけも麻雀がくれたものでした。工大生だった当時働いていた雀荘がJ・メディア管理ビルで卒業するタイミングでマスターが佐藤社長を紹介してくれたのがきっかけです。また、昨年アマチュアの大会で北海道1位になることができ、東京で行われる全国大会へ行ってきました。まだまだプロとはレベルが違いますが、いつかプロの資格をなんて考えております。好きなことはとことんやるをモットーに31年間生きてまいりました。この先も続けていこうと思っています。

さて、今回はライラセミナーに参加するというお話です。私が参加したのは2013年9月に行われた名寄です。場所は名寄温泉サンピラーにて約10年前のことなので、すべてをお伝えできるかわかりませんが参加したきっかけや何を体験したかを話していきたいと思っております。

### 1. まず参加したきっかけについてです。

当時J・メディアに入社して5カ月がたったころです。佐藤社長に全国の若者が集まる会に参加しないか誘われたのがきっかけです。私は人見知りをするタイプなので若干悩んでいると社長から「合コンみたいなもんだ」しかも会場は温泉と。背中を押していただき参加を決断しました。動機は不純であっても現地で学ぶことはきちんと学びメリハリをつけてしっかりやろうと参加しました。

### 2. 次に学習のテーマに関してです。

今回のテーマは「被災地の体験」でした。2011年の東日本大震災後、現地でどのような生活がなされていたのかを体験するという形だったかなと思います。具体的に何をしたかといいますと、【晩御飯が非常食】【避難所の生活】です。それ以外にもあった気がしますが、セミナー初日のこの二本立てがきつすぎてこれしか覚えておりません。まず晩御飯ですが乾パンでした。味の無いぱっさぱっさのクッキーみたいなやつです。口の中の水分を奪うだけで食事した気にはとてもなれません。まあ学習が終わり次第おいしいご飯が出てくるのだらうと思っておりましたが出てきませんでした。

なぜなら【被災地の体験】だからです。この時点でお気づきの方もいらっしゃると思いますが、被災地で温泉??被災地で合コンしますか??ということです。ええ、佐藤社長にまんまとはめられました。ただ食事に関しては本当にきつかったので就寝前にカップラーメン食べたい人はどうぞみたい展開がありほんのり救われたのを覚えております。

その流れで避難所の生活体験をすることになるのですが、そもそも避難所とはこの辺でいうと体育館だったり住民センターだったりでしょうか??今回は体育館で参加者全員が眠るという体験でした。温泉に入れないどころか布団でも寝かせてくれなかったのです。支給されたのは寝袋と段ボールだけです。段ボールを箱状にしてなかに入っている人や、敷布団にしてその上に寝てる人もちらほらいましたが、もう帰りたい感情しか残っておりませんでした。秋の体育館でぶるぶると震えながら寝たのですが段ボールもないよりはいいかと思うようになりました。

あまりイメージがわからないかもしれませんが、僕たちは同じ参加者がたった1日そこで寝るだけだったのでまあ我慢でできました。ですが、実際の避難所は終わりなんて見えないですし、まわりの人間たちだって気の許せる関係じゃない。その空間での生活は正直想像を絶するものだと感じました。体験してきたことはこんな感じです。

今まで大きな災害もなく呑気に生きてきてあまり防災意識も持ち合わせておりませんでした。災害のニュースを見たりすると少し考えるようになりました。

また、日常の仕事においての意識も少し変わりました。今回のセミナーで同世代の人達の中で3日間過ごし、何か爪痕を残せたかと言われると何も残せなかったです。残したからえらいのかという話になるのですが、集団の中で光らなければ誰にも見つけてもらえないと思いました。

同世代の営業マンが他業者含め多くいるこの不動産業界で光るにはと考えました。そこで具体的に何をしたかを簡単にお話しします。まず、資格を取りました。これが僕のスタートラインです。次に、モヒカンにしました。集団の中での岡田の確立を髪型で図ったのです。誰にあっても「なんだあいつは」と思われる第一印象を作りました。するとみるみる売上も上がり、店長になりました。店長になると本社の会議だったり社長の仲間と会う機会も増えましたが、その前日には決まって刈りあげて臨みました。すると、みなさんに覚えてもらえるようになりました。集団で埋もれなくなったのです。もちろん100人いたら全員が認めてくれるような格好ではありませんでしたが、重々承知です。多少のリスクを背負いながら刈り上げ続けました。そんなリスクすらも糧にして努力していると会社役員になれました。このモヒカンが佐藤社長にはまったのか、たまたまうまくいっただけなのか自分でもわかりませんが、当時入社5カ月の僕が今の役職を与えてもらうきっかけになったのはライラセミナーに出て集団の中の個になった経験があったからです。

さて終わりになりますが僕が参加した名寄が結構ハードなものだったと聞いております。翌年以降はお酒を飲めたとか。ですが、ハードだからゆえ10年がたつ今でも思い出すことのできる体験だったのかとスピーチを考えながら思っておりました。それほどの貴重な体験、また私を会社役員まで押し上げるきっかけを作ってくれたライラセミナーに感謝の気持ちを述べ、私のスピーチを終わりたいと思います。ありがとうございました。

過去の経験したライラセミナーを通して、みなさんにとって良い経験が出来た事は、今後の財産となり、さらなる成長へと繋がっていくと思います。

今後も、それぞれの企業の大きな戦力として、ご活躍されます事を心からご祈念を申し上げまして青少年奉仕委員会の発表とさせていただきます。

■ 例会予告	10月6日	米山月間に因んで	米山奨学委員会
	10月13日	ゲスト卓話「ホテルの生態と金刀比羅山の魅力」 上ところさくら会 会長 中島 邦夫 氏	環境保全委員会

## 出席報告

## 大場出席副委員長

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	9月22日	62	12	48	8	0		82.8%
先週例会	9月15日	61	12	44	6	0		80.0%